

長野市民新聞

3 【総合】 2007年(平成19年) 9月 29日(土)

長野市民新聞

第174Q号  
9月29日(土)

長野市民新聞社  
編集制作センター  
〒380-0943  
長野市安茂里1029-1  
フリーダイヤル  
0120-06-5511  
TEL 223-5511  
FAX 223-5500  
shiminm@avis.ne.jp

長野駅へ  
R19  
松本へ  
R117  
丸沼島橋へ  
マルコム橋

©長野市民新聞社 2007

国内外のアーティスト  
市中心市街地で表現活動

あすまで「ニコアフ」

パフォーマンスや逸話揭示

国内外のアーティストが長野市の中心市街地に飛び出し、市民とかわりながら型にはまらない表現活動を繰り広げる初の国際芸術祭「長野国際コミュニケーション」(霜田



身近な逸話を市民に書いてもらった紙を公園に掲示する  
国人女性(右から2人目)

は「突然で驚いたが、(ニコアフの試みは)地味な雰囲気な長野にとつて刺激になるので

は「突然で驚いたが、(ニコアフの試みは)地味な雰囲気な長野にとつて刺激になるので

書いてもらって公園で掲示などしている。29日午後5時から10月7日まで、中御所2の「ニパフ・ハウス」で参加者の作品などの展示会も開く。(ニパフ実行委(☎090・1652・9127)。

誠(代表)が主催し、米国やカナダ、インドネシアなど海外5カ国と国内のアーティスト10人が参加している。26日はメキシコ人男性が、JR長野駅前で行人「長野」について思い浮かぶ言葉を紙に書いてもらった。協力した70代の女性



周囲の雑踏を遮り「考え事に集中できる箱」を通りがかりの市民(右)も体験